

ツール・ド・九州に
NIPPOブース
グッズ配布し盛り上げ

NIPPOは、10月13日に開催された国際自転車ロードレース「マイナビ ツール・ド・九州2025」に3年連続で協賛した。同社の取り組みなどを紹介す



るブースも出展し大会を盛り上げた。

「来場する地元の方々、国内外から訪れる自転車ファンにもっと喜んでもらいたい」との思いを込め、ブースでは大会や同社にまつわるアンケート、クイズを実施。同社がスポンサー契約を結び、レースにも出場したベルギーのプロチーム「INTERMARCHÉ-WANTY (アンテルマルシェ・ワンティ)」と大

会ロゴのコラボグッズ、会社のマスコットキャラクター「ミッチーくん」のグッズなどを回答者にプレゼントした。写真。

同社は1985年にロードレースチームを創設し、現在もプロチームのスポンサーを務めるなど、約40年にわたり自転車競技に関わってきた。今後も「自転車競技を通じて地方創生や元気なまちづくりに貢献していく」考えだ。



ブースで事業紹介

ツール・ド・九州に

NIPPO協賛

NIPPOは、10―13日に

開かれた「マイナビ ツール・ド・九州2025」に、第1回(2023年)から3年連続で協賛し、同社事業を紹介するブースを出展した。写真。

同大会は九州を舞台に、国内外のプロサイクリストが長崎、福岡、熊本、宮崎、大分の各県を駆け抜ける国際自転車ロードレース。ブースでは、「地元の方々、国内外から訪れる自転車ファンにもっと喜んでもらいたい」との思いから、アンケート・クイズに回答した来場者に対し、同社がスポンサー契約を結ぶプロサ

イクリストチーム「INTER MARCHE-WANTY (アンテルマルシェ・ワンティ、ベルギー)」と大会ロゴのコラボグッズや会社キャラクター「ミッチーくん」グッズなどを配布した。

1985年に自転車ロードレースチームを設立するなど、約40年にわたりサイクルロードレースに関わってきた同社は「ツール・ド・九州のような自転車競技を通じて、これからも地方創生や元気なまちづくりに貢献していく」としている。